
はじまり

那音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

はじまり

【Nコード】

N3143R

【作者名】

那音

【あらすじ】

私とヒロとかずくんのものがたり。

〔改訂版〕

(前書き)

どうも。

すとむみずみです。

”理由なんていらなのかな”、
”帰り道”のシリーズです。
よろしくお願いします。

「あ、和人」

私とかずくんが話している最中なのに、ヒロがさえぎった。ほんとにいつもいつも邪魔だ。

「なんだよ、ヒロ」

かずくんもいやそうに答える。

「和人、一緒ゲームしねえ？」

「なんのゲーム？」

「ワードバトンゲーム」

「なにそれ」

「会話をリレーしていくんだよ。なにとも言えなかったら、そいつの負けだ」

「……」

「そんなふうになったら、俺の勝ちってわけだ」

「……」

「おい、和人！ 聞いてんのかよ」

「……やりたくない」

「いーじゃん、やろーぜ」

しつこいな、と思いながら私は聞いていた。かずくんがかわいそうだ。

「やらないって」

「なんでだよ」

「ちよっと、ヒロ！」

私はがまんができなくなって、ヒロを呼んだ。

「いかげんにしなさいよー！ かずくん嫌がつてるじゃん」

「じゃあ、かおりでいいから、やろーぜ」

「なんで私がやらなきゃいけないのよ」

「じゃあ、和人、やろーぜ」

ヒロが再びかずつくんの方を向いた。そんなにやりたいのかな。

「ちよっと、ヒロ、ほんとにやめてよね」

「いーじゃん、1回！ 1回だけでいいから」

「うるさい、バカ！」

「あー、バカって言ったな！ バカって言ったほうがバカなんだぞ」

「そうだとっても、ヒロよりマシよ」

「あー、もう怒った！ 桃井先生にゆってやる！」

「え……」

それはまずい。うちの担任の桃井先生は何度も何度もしつこく話を
する。ヒロが説教されているのを何度も聞いているので、知っている。
る。

「先生はだめー！ それはほんとにやめて」

「じゃあ、言わないからさ、やろうぜ」

「……」

「先生にゆーぞ？」

「わかったわよ。やればいいんでしょ」

「じゃあ、今からな。和人は何もゆーなよ」
かずくんがこくり、とうなずく。

「さっそくだけど、かおり、好きな人いる？」

「えっ……？」

「好きな人だよ」

「……」

「よっしゃ、俺の勝ちー！！」

「ひきよーだよ、そんなの言えるわけないじゃん！」

「ってことは、いるんだな。好きな人が。だれ？ もしかして、俺
？」

「そんなわけないじゃん！！ かずくんだよっ！！」

あ。言っちゃった。ヒロのペースに乘せられて、つい言ってしまった。

「おおおお！！　よかったな、和人」

「……………」

「……………」

「和人、おまえ顔真っ赤だぞ？　おお、かおりもじゃん！　ラブラブだねえ」

ヒロ、お願いだから黙っててっ。

（後書き）

読んでいただきありがとうございました。
感想、アドバイス等々遠慮なく。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3143r/>

はじまり

2011年10月8日18時34分発行